

01 これまでの到津の森公園の歩み

「到津の森公園」の前身は、民間の到津遊園です。平成10(1998)年の閉園決定後、市の当時の人口の約4分の1にあたる26万人の市民、52団体からの存続を求める声や、北九州市議会での到津遊園の存続に関する全会一致の決議を受け、北九州市が引き継ぐこととなりました。

そして、平成14(2002)年4月13日、市民が支える自然の森公園として開園しました。

平成12(2000)年に策定の「到津の森公園基本計画」

基本理念

市民と自然とを結ぶ「窓口」となる公園をめざす

4つの基本方針

- ・ 自然環境や動物とのふれあいを通じて楽しみながら学習する「自然環境教育施設」とする。
- ・ 市民や企業などから様々な協力が受け入れられる「市民が支える公園」とする。
- ・ 良質なサービスを継続的に提供するため「効率的な運営」を目指す。
- ・ 県と協議・協力し「中央公園と一体的な整備」を行う。

02 動物園を取り巻く環境の変化

① 動物福祉の向上に関する重要性の高まり

飼育動物が幸福に暮らせるよう、生息環境に近く動物と自然との関係を理解できるような展示。

② 生物多様性保全への貢献、研究に関する重要性の高まり

希少野生動植物に関する環境教育・普及啓発機能や「種の保存」機能の役割。

③ 持続可能な社会の取組に関する重要性の高まり

持続可能な開発(SDGs)や人と動物の共生社会づくり(ワンヘルス)の取組。

03 到津の森公園の強みと課題

■到津の森公園の3つの強み

到津の森にはさまざまな強みがありますが、特にこの3つが挙げられます。

①市民が支える公園

動物サポーターや友の会、市民ボランティアをはじめとして、様々なかたちで多くの人々に愛され支援していただいていること

②歴史ある環境教育

環境学習プログラムや林間学園など、自然環境教育を大切にしてきた長い歴史があること

③計画的な森づくり

残してきた森と育ててきた森、街中にありながら自然と一体化した緑あふれる環境であること

■到津の森公園の5つの課題

園が今後取り組むべき課題として次の5つが考えられます。社会経済情勢の変化や、動物飼育に関する環境変化等の影響を見定め、これらの課題解決に向けた取組を進めていきます。

①強みをいかした運営・集客

②環境教育施設としての機能強化

③多様な客層に向けたコンテンツづくり

④プロモーション・コミュニケーションの強化

⑤動物の飼育展示のあり方

04 「将来ビジョン」の基本理念

平成12年に策定した基本計画の基本理念を継承しつつ、さらに未来へ向けて園が持つ価値を高め、つないでいく必要があります。そこで、次の20年の到津の森公園が目指すべき姿として、右の「基本理念」を掲げます。

かけがえのない自然やいのちを
世代を超えて未来へつなぐ公園を目指す

05 「将来ビジョン」の5つの基本方針と2つの取組姿勢

基本理念を実現するため、次の5つの「基本方針」を定めます。

基本方針 1

みんなに愛され、これからを一緒につくっていく

「市民とともに歩む公園」

「市民が支える公園」という姿勢を継承し、市民をはじめ企業や学校、地域、北九州出身者など「みんな」に様々な場面で園に関わっていただく機会を設け、「みんな」から愛され、「みんな」と一緒に公園の未来をつくります。「みんな」にとって身近な公園として世代を超えて愛される場所を目指します。

基本方針 3

その人その人にあった楽しみ方・過ごし方を生む

「多彩な楽しみに出会える空間」

「動物を見る」「動物とふれあう」だけでなく、自然観察や健康づくりなど、年齢やライフスタイルにとられず、人それぞれにあった楽しみ方、過ごし方ができる環境を整えます。また、他施設と連携しながらプログラムを企画するなど、地域全体としても多彩な楽しみ方・過ごし方をつくっていきます。

基本方針 5

高品質なサービスを提供し続ける

「いつでも未来を見据えた運営」

園の強みをいかした取組を一層進め、集客力を強化し、収益向上に努めるとともに、民間活力を最大限に活かす取組を行い、サービスの質向上や過ごしやすい環境づくりへの投資等、園の魅力を高めるための好循環をつくります。また、園のスタッフの人材育成に積極的に取り組みます。

取組姿勢 1

自然や立地など到津の森公園の強みをいかし、ここにしかない価値を磨き上げる

取組姿勢 2

多様な情報発信と積極的なコミュニケーションの充実を図る

基本方針 2

自然や命の大切さへの理解を深め、楽しく学ぶ

「自然・環境の学び舎」

動物の生態や園内の豊かな自然を活用した、多彩な展示やプログラムを提供し、自然や命の大切さを楽しく学べる施設を目指します。また、自然環境や生物多様性の保全について分かりやすく発信し、提供するプログラムの充実につなげます。

基本方針 4

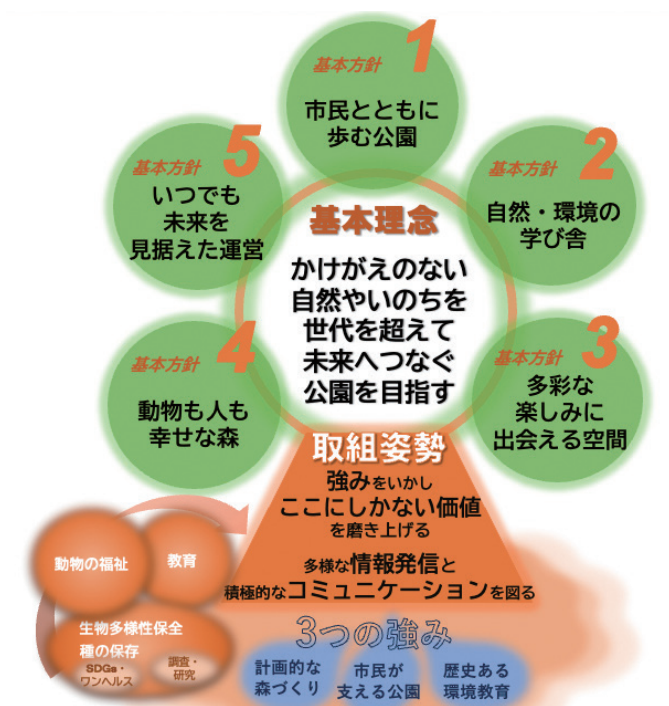
動物がおりのまま幸せに暮らすとともに、誰もが安心して過ごせる

「動物も人も幸せな森」

動物が自然に近い状態でのびのびと幸せに暮らしていける空間をこれからも追求し続けるとともに、「動物の幸せ」と「人の楽しみ」のバランスを取った飼育・展示方法やプログラムのあり方を考え続けます。また、小さな子どもを連れた家族、若者、高齢者や障害のある人など誰もが安心・快適に過ごせる環境づくりに努めます。

体系図

3つの強み、基本理念、基本方針、取組姿勢等を図にまとめました。



また、基本理念や基本方針の実行にあたり、次の「取組姿勢」を常に意識しながら取組を進めていきます。